

はリンク

はWAMNETの事業者情報にリンク

**事業所名**

なぎみ苑

日付 平成 20年 11月 10日  
特定非営利活動法人

**評価機関名** ライフサポート

評価調査員 在宅介護経験15年

評価調査員 介護支援専門員経験5年

自主評価結果を見る

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

**1. 評価結果の概要**

**講評**

全体を通して(特に良いと思われる点など)

母体の特養ホームは奈義町の福祉の歩みと共に町民の高齢者を支えて来て、今年度で15年になる。その間に、平成13年にグループホームが設立され、7年来の歳月が経った。グループホームの管理者は母体の苑長が兼務しているが、グループホームのあるべき姿をいつも考え、利用者の高齢化や認知症の重症化によって生活リズムの保持や共同生活が難しくなっていく事に悩んできた。兼務をしていても、ホームの特長をつけようと努力している姿に安心感を持った。

この悩みは、主任や計画作成担当者及び全職員が共通の課題とせずずっと取り組んできた。グループホームとして特に注意しておかねばならない事は、一人ひとりの人間としての機能をしっかり考えておかねばならない事である。人間が生きる基本的機能は、食べる、排泄する、動く事である。ホームの食事は皆で作る事を少しでも実現する為に、特養から配られる食材を在庫の食材と合わせて、利用者や相談しながら調理して、皆で楽しみながら食事をする姿である。排泄する事は、アップルファイバーを使い、通じを良くする。又、紙パンツから特殊な布パンツとパットを使い、皮膚のただれ防止をして排泄の改善にも結び付けようとしている。動く事は、毎日特養のリハビリ室に通い、筋肉や関節を暖めたり、マッサージをして歩行能力維持に努めている。このような日々の生活上の積み重ねをして、少しでも体力維持に努めている。次に、人間として生きる機能は、コミュニケーションをする、人に役立つ事をする等の事が上げられる。利用者同士でも仲良しの友達とよく話している。このホームの特長の一つは年に2~3回大きな作品を作る事が上げられる。職員の作った動物や植物等の形紙に利用者全員で包装紙等の紙を貼って姿を作り上げている。ここにどんな色を付けるか等、利用者同士で決めて貼っていくそう。実に見事な色彩表現が出来ており、吃驚するほどの作品が展示してある。この作品について利用者に聞くと、殆どの方がちゃんと憶えている事に驚いた。又どれだけ苦労したかを、はっきりした言葉で発している。普通の事は忘れていたが、皆で一生懸命努力した事は、しっかりと意識しており、記憶や再生にも役立っている事に驚かされた。

このような生活行動をして来た事を、アセスメントとして把握しており、介護計画の作成や記録にも活かしている。今年から主任・計画作成担当者及び一部の職員が入れ替わったが、今までの長年の経験を生かし、業務改善に対する意欲もあるので、更に良いホームにしていくだろうと思える力強さを確信した。

特に改善の余地があると思われる点

7年以上の長い歴史のあるホームである。医療と介護は認知症の人にとって別々のものではない。医師と介護職員が利用者一人ひとりの状態の情報交換をして、その人の病気の経緯の状態と先行の予測を基にケアを如何にすべきかを具体的に決めていくようにすれば、尚一層利用者の人間としての維持が可能となるだろう。

## 2. 評価結果 (詳細)

### I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	<p>自主評価について…：母体の特養ホームとも共通する事であるが、「快適で安心な生きがいのある生活」を利用者に提供するように方針として考えており、職員の利用者に対する関わり方を見て、行き届いていると確信した。</p> <p>全体的に見て…：特別養護老人ホームや通所サービス等、地域の介護分野で貢献してきた母体法人が、市町村の要請を受け、ホームを開設して7年半になる。「表面だけでなくその裏側を汲み取り、でしゃばらず利用者主体で気持ち優先の支援がしたい」と職員は言う。「ここに来て大事にしてもらうから、ちょっとでも長生きするわ」「今94じゃけど、若いもんじゃ手取らせなんだら、ここまで来たら100年まで生きてみようか？」利用者達が笑いながら話している。積み重ねた年月による重度化は避けられないが、その表情は安心と信頼に充ちていた。</p>		

### II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>自主評価について…：特養ホームと廊下続きで、利用者の行き来に便利であり、グループホームの運営は、独自性のある考えや行動に立っているため問題はない。リビングルームも広々とした空間であり、利用者はゆったりとした生活が出来る。</p> <p>全体的に見て…：麦わら帽子被って利用者達が畑で枝豆を収穫している。「こんなのは町の方にはなかるう」手に力が入らんと言いながら得意そうに枝豆をちぎり、長く農業に携わってきた利用者達は元気になる。一仕事終わって寛ぐリビングは一面ガラス張り、大パノラマの地域のシンボル奈義山が見える。「秋もええけど雪の山が一番好きじゃ」「昔学校から奈義山登りに行った。登った事なかったら登ってみたいと思うじゃるけど一度登ったらもう二度と登るまいと思うよ。山見ると思い出す、慣れ親しんだ四季に包まれた日常は何よりの癒しになっていた。</p>		

### III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人のできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

### III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>自主評価について…：介護計画と記録は新しい試みで記載され、利用者のアセスメントもしっかり情報収集するよう改良中である。1ヶ月分が見透せる様式となり、利用者の生活の状況が一目で判り便利である。一つひとつ改良を加えていこうとする意欲を感じる。</p> <p>全体的に見て…：「材料これだけあるけど昼ご飯がええ？」テーブルの上に食材並べて皆で相談する。「汁もんは欲しいな。油揚げと黙入れよう、ネギもあるし」「ホーレン草ゆがしたらええ、浸しにしよう」「私元気がやら何でも食べれるよ。残り全部、肉も野菜も煮えたらええ」収穫した枝豆もゆでて、美味しい食事が出来る。利用者・職員の垣根なく遠慮なく言いたい事が言えて、皆で大声で笑って実に賑やか、利用者同士の会話も多く仲が良い。利用者職員との人の良さがそのまま出た居心地の良いホームになっている。心を大切に支援の成果を実感した。</p>		

### IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
記述回答	<p>自主評価について…：奈義町の中であって、母体法人は町の福祉施策と共に歩んで来ているので、町と区の地域と一体となった運営がスムーズに行われている。すべてグループホーム単独でのではなく、町及び母体の中で地域との連帯が生まれている。</p> <p>全体的に見て…：毎日4時になると、利用者達は廊下伝いに同一母体法人関連施設のリハビリ室へ出掛ける。特養の職員とも顔馴染みになり、親しく言葉を掛け合っている。ついでに特養に入所した友人を見舞う人もいる。同一母体法人のデイサービスや小規模多機能施設に行っても知り合いに会える。同一母体法人関連施設同士の連携と協働はホームの強みになっている。恒例の母体法人全体の合同行事の敬老会には、利用者・家族に加え、町長・県議員・町会議員の出席がある。ホームも含めた母体法人全体が、地域に深く根付き、地域の認知症ケアの拠点となっている。</p>		